6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		若者による地域づくり活動の創出							
指標	指標名	若者による地域づくり活動創出件数					指標の種類		
	指標式	本事業参加者や関連事業により創出された活動を成果指標とする。					成果指標 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			1	3	6			
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国			地域づくり推進課調べ					
把握する時期								当該年度中 月 翌年度 05月 翌々年度 月	

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								
把握する時期									当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 地域活性化の軸となるプレイヤー不足やメンバーの固定化などにより、地域づくり活動の停滞やマンネリ化などの課題を抱えはじめています。このような現状を打破するためには、意欲のある新たな人材の掘り起こしが不可欠であり、特に、次代の主役となる若者の参加を促進していく必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 意欲ある若者が集い、その想いを発信したり、広く仲間を集める機会を得ることは難しく、具体的な活動団体の組成を図ることが難しい状況にある。さらに、一定の成功を収めた先輩活動者から意見を得ることは、多くの人々が交流する首都圏と比較して人的つながりに乏しいため、非常に困難である。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

若者同士の交流や先輩活動者との意見交換については、民間団体による実践も可能と考えられるが、現時点で具体的な活動団体が存在せず、また、県外の先輩活動者とのつながりも希薄な状況であることを鑑みると、団体の組成や活動モデルが形成されるまでは、県の関与が不可欠と考える。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
重点事業		その他